

第26回例会報告(1月27日)

【出席報告】

・会員数 58名
 ・出席数 33名
 ・欠席数 25名
 ・当日出席率 66.67%
 ・前々回修正出席率 100% 14回目
 <欠席会員> 八石、原田、檜垣(巧)、平尾、飯沼、門田、菅、吉良、前川、越智(節)、清水、竹田、田中、寺町、安井、吉武
 [免除会員] 原(真)、原(竜)、松本、村上(敬)、中川、野間、佐伯、坂本、高木
 <1/11欠席補填> (1/2今治南)八石、檜垣(圭)、伊藤、飯沼、菅、川上、小島、村上(裕)、酒井、清水、竹田、田中、寺町 (1/21諮問委員会)尾越 (1/10東京)金森 (1/16今治南)檜垣(巧)

2006-2007年度インターシティ・ミーティング

ホスト:今治南RC、 於:今治国際ホテル・クリスタルホール



2006-2007年度RI第2670地区愛媛第一分区のIMが、「新世代活動における青少年育成とは」をテーマに、1月27日(土)に今治南RCがホスト役となり9クラブ260名が参加して今治国際ホテルにて開催されました。12時20分、今治南RC矢野直幸会長の点鐘で開会し、「君が代」「奉仕の理想」を斉唱した後、開会の言葉、歓迎の言葉、来賓ならびに役員の見紹介、参加クラブの見紹介・参加状況報告と続き、飯忠悟ガバナーよりIM開催に関する他地区の状況を織り交ぜたご挨拶をいただきました。引き続き、

地域史研究家の大成経凡氏の記念講演に移りました。演題は「日本のアンデルセン・久留島武彦の世界～子供達に捧げた半生～」でした。久留島武彦氏は、大分県出身ではありませんが、来島海賊衆の頭領村上通康、その子の通総直系の子孫にあたり、今治に縁の深い人物であること、また、日本全国での童話の読み聞かせ(口演童話)や幼稚園の創設、ボーイスカウト設立に尽力するなど、青少年育成に深くかかわりを持ったことが紹介され、講師の歯切れのよい話に多くのロータリアンが耳を傾けました。

休憩を挟んで「新世代活動における青少年育成とは」をテーマにフォーラムに移りました。フォーラムは、神村鉄雄ガバナー補佐によるテーマ説明の後、野間建紀、田窪孝和両IM副リーダーの司会にて川之江RCから順に各クラブの新世代活動について発表し、質疑を行なうという形式で進められました。各RCから、表彰や記念品贈呈、ビデオ配布、キャンプ、交換留学生などの活動内容が発表され、これに対し具体的な内容や予算に関する質疑が行なわれました。今治RCからは、西本信保インターアクト委員長より、今治青少年ロータリー友の会の発足の経緯および早朝清掃奉仕、サマーキャンプを中心とした活動内容が発表され、他クラブの参考になったものと思います。



最後に、村上明弘カウンセラーから「各クラブの特徴のある充実した活動に敬意を表する」との講評があり、ガバナー所感に続き、閉会の言葉、最後は、「手に手つないで」を大合唱し閉会しました。参加の皆さん、今治南RCの皆さん、大変お疲れ様でした。

次回例会(2月1日)

【インターシティ・ミーティング報告】

<夫人誕生日> 竹田 春夫氏(2/1) 寺町 久徳氏(2/3)
 <結婚記念祝> 田中 雅仁氏(2/2)
 <入会記念日> 重松 宗孝氏(2/5)
 [献立: 笹]